



**ACCESS MAP**

**飛行機**

- 札幌(新千歳) 75分 → 福島空港 から車で15分
- 大阪(伊丹) 65分 → 福島空港 から車で15分

**電車**

- 東北新幹線 東京駅 80分 → 新白河駅 から車で40分
- 東北新幹線 東京駅 80分 → 新白河駅 からバスで60分
- 東北新幹線 仙台駅 45分 → 郡山駅 50分 → 磐城石川駅
- 水郡線 水戸駅 140分 → 磐城石川駅
- 水郡線 郡山駅 50分 → 磐城石川駅

**車**

- 東北自動車道 白河IC から車で45分
- 東北自動車道 須賀川IC から車で30分
- あぶくま高原道路 石川母畑IC から車で15分
- 常磐自動車道 いわき湯本IC から車で60分
- 一般道 郡山市 から車で55分
- 一般道 水戸市 から車で150分

石川町役場農政課  
 〒963-7893 福島県石川郡石川町字長久保185-4  
 TEL: 0247-26-9126 FAX: 0247-26-0360

# 福島県 石川町

Ishikawa Town  
Fukushima



就農・移住が  
まるわかり!



# 石川町で 農業体験 をしよう!

石川町には  
農業体験や農泊、  
グリーンツーリズムもできる  
施設がたくさんあります。

記載のもの以外にもご紹介可能ですので、  
気になる方は石川町役場まで  
ぜひお問い合わせください!  
(問い合わせ先は裏表紙へ→)



福島県石川町  
公式キャラクター  
キララちゃん



## ③ 岩谷牧場 酪農体験

【体験可能時期】5~10月  
【体験内容】搾乳体験・哺乳体験等  
【料金】事前に電話にて相談  
【体験人数】10名~30名まで ※2週間前までに予約が必要です。  
牛の見学のみは10名以下でも可  
【連絡先】TEL・FAX.0247-26-5386 ※短期での研修生を受け付けています。



## ① 御光福園芸 イチゴ摘み取り体験

【体験可能時期】4月中旬~6月上旬(9:00~16:00)  
【料金】入場無料 ※体験料については、HPやお電話で確認ください。  
【体験人数】個人:1~10名 団体:30名 ※予約は個人は3日前、団体は7日前まで  
【連絡先】TEL.0247-26-0183



## ④ 南山形ファーム 田んぼのオーナー制度

【体験可能時期】6~11月  
【体験内容】米作りに関する一連の作業  
【料金】個人:精米20kg15,000円 2人目以降+1,000円 団体:要相談  
【体験人数】個人:1名~ 団体:5名~ ※3月までに申込  
【連絡先】TEL.0247-26-4773



町を流れる今出川と  
北須川の川沿いには6km以上にも  
及んで2,000本の桜が咲き連ねます。  
また、県指定天然記念物の  
「高田桜(樹齢500年)」は  
一度は見るべし!

小さな町ながら、  
4つもの個性的な温泉郷が!  
母畑(ぼばた)・猫啼(ねこなき)を  
はじめとする温泉が  
風情ある景観を  
映し出しています。



## ② 郷隆果樹園 サクランボ・リンゴ狩り

【体験可能時期】サクランボ狩り:6月上旬・下旬 ※中旬は受付中止  
リンゴ狩り:9月下旬~10月  
※サクランボは雨天でもOK、リンゴは雨天中止  
【料金】事前に電話にて確認  
【体験時間】30分(10:00~16:00の間)  
【体験人数】個人:1件につき10名程度 ※団体は受け付けていません。  
【連絡先】TEL.0247-26-5591 ※日時は電話において相談となり、予約が必要です。



## ⑤ 農園Café やい子ばあちゃん 季節体験

【体験可能時期】味噌作り体験:1月~4月 大豆播種作業:6月  
ミニトマト収穫体験:7月 ピザ焼き体験:7月~9月  
【料金】メニューによる  
【体験人数】3名~10名程度 ※要相談  
【連絡先】TEL.0247-26-4773



# 石川町の おいしいもの ご紹介



阿武隈川の清らかな水源と豊かな大自然を有する石川町では、良質な農畜産物が育まれています。水稲、夏秋キュウリ、インゲン、ナス、レタスなどのほか、さまざまな農畜産物が育まれます。

## リンゴ

阿武隈川からのきれいな水と雄大な大自然で育った石川町のリンゴは、太陽の光をたくさん浴び、糖度が高いことが魅力です。甘さと酸味のバランスが抜群で、果汁と蜜がたっぷりのシャキシャキ食感をぜひご堪能ください!



## いしかわ牛

主に国産粗飼料で育つ「いしかわ牛」は、2012年に商標登録された新星ブランド牛で、A3~A5の評価を受けています(公益社団法人日本食肉格付協会枝肉取引規格)。

## トマト

トマトは石川町の主力作物です。土壌分析をベースとした徹底的な肥培管理により、減農薬・減化学肥料栽培に取り組みなながらも、おいしく健康的なトマトを作っています。

# 就農までの ステップ

1

## 情報や 基礎知識の収集

農業を始めるにあたり、まずは情報や基礎知識を集めましょう。

各地で開催されている、就農相談会へ行ってみましょう。

就農情報が詰まった  
「ふくのう」  
をチェック!

「ふくのう」は、福島県が運営する就農サポートサイトです。

福島県で農業しよう!  
「ふくのう (fukunou)」  
<https://start-fukuagri.jp/>



(公財)福島県農業振興公社  
就農支援センター  
<http://fnk-syunou.jp/>



2

## 体験・現地見学・ 短期研修

自分の理想のイメージとのミスマッチを防ぐため、実際に地域に行って農業体験をしたり、短期研修を受けましょう。

3

## 農業法人・ 公的研修機関での 長期研修

農業経営ビジョンの明確化(就農地、居住地、栽培作物など)を図り、就農までの具体的なスケジュールを立てましょう。技術や経営のノウハウを習得するための研修を受けましょう。

4

## 就農に 必要なものを 確保

技術等の習得と並行して、就農に必要なものの確保と各種手続きを進めましょう。

資金の確保

農地の確保

機械・施設の  
確保

住宅の確保

石川町役場  
農政課



石川町の移住・定住  
ポータルサイト



石川町  
空き家バンク





# 先輩 インタビュー

## 農家のリアル

### 移住・就農の きっかけ

埼玉県出身  
紀陸洋平さん  
聖子さん

農業ありきではなく、住む場所を探し、たどり着いたのが石川町でした。移住者に人気の北海道も検討しましたが、決め手になったのは福島県に問い合わせた際、電話対応いただいた方のあたたかい対応です(洋平さん)。

東日本大震災における原発事故の影響に対する不安もありましたが、母親として、風評被害を避けて暮らすことより、震災や原発事故を人事ではなく自分事として受け止めなければいけない、子供たちに伝えていかなければという思いがありました(聖子さん)。



夫婦の育てる葉物野菜



### 洋平さんの 農閑期



大雨の時など、畑に入れないときは諦めて寝る時もありますが、作物の状態や排水など畑の状況を確認するため、フルタイムの休みはほぼありません。農閑期となる冬場(12月中旬～3月下旬)までは酒蔵でアルバイトをしています。

2月下旬からはアルバイトが休みの時に春作の準備をします。

### 聖子さんの 農閑期



農閑期にあたる1月～3月は多少の収穫、納品、播種、ほ場の整理・片付けや事務仕事と並行して短期のアルバイトをします。普段は夫婦だけなので、ほかの職場は新鮮で楽しいです。時間に対してお金が補償されていることがすごいと感じます。(農家は労力が0円になってしまうことが普通にあります。マイナスの時も!)

### 新規就農 希望者への アドバイス

地域のために何ができるのかを示し、積極的にコミュニティに溶け込むことが大切。わたしの場合は地区の消防団に入団したことで地域の一員になれたように思います(洋平さん)。わたしたちはお金の面での支援はほとんど受けていませんが、これから移住される方は町の制度をよく理解したうえで検討することをおすすめします。移住や定住、就農は「こうすればうまくいく」というものではなく、何をもって成功とするかは人それぞれ。マイナス面にも目を向け、移住に向けた「勢い」と「準備」のバランスを取りながら悔いのない人生を送っていただきたいです(聖子さん)。

WEBでも  
記事公開中



# 先輩 インタビュー

## 農家のリアル

### 就農の きっかけ

福島県出身  
矢内怜美さん  
一久さん

牧場経営を学ぶために農業系の大学に進学。群馬県の大規模牧場に就職後、肉用牛の繁殖農家を営む同級生の夫と結婚、家業を手伝っていました。義祖父と義父はそれぞれ独立経営をしていたこともあり、自分たちで牧場を持つことが私たちの目標。子育てがひと段落した2020年に独立し、繁殖牛3頭から念願の牧場経営がスタートしました。親牛が20頭に増えたタイミングで夫は会社員から専業農家となり、現在は夫婦二人三脚で牧場を営んでいます。



### 畜産の魅力



私たち畜産農家にとって、「かわいい」と「おいしい」は共存しています。大切に育てることで牛は人になつき、双方に愛情が生まれます。事故なく、無事に出産を迎え、生まれた子牛を価値のある肉用牛として肥育農家に高値で販売することが繁殖農家の役目です。手をかければその分、収入としてしっかり返ってくることもやりがいを感じます。子牛の価値(競り価格)に最も重要なのが血統構成です。どの血統の牛を種付けするかで生まれた子牛の価格は大きく変わります。競りで高値がついた時は、「よっしゃ!」と、大きな達成感を得ることができます。命を育て、感謝を日々感じられるからこそ、畜産の最大の魅力だと思います。

### 牛の扱いで 気を付けている こと



日々の観察を怠らないことです。少しの変化に気がつけるか否かで、牛の健康は大きく変わります。毎日見ているからこそ気が付く変化もあり、体調が悪い牛には適切な処置をし、エサの配合などを工夫することで病気を未然に防ぐことができます。繁殖経営は母牛の発情期を逃さず人工授精をし、いかに空胎日数を減らすかが経営のポイント。飼料価格が高騰する昨今、母牛が子牛を産める状態をキープすると共に労働過多にならないよう、人工授精は出産時期が重複しないように気をつけながら行います。生き物である牛はセオリー通りにはいかないこともありますが、技術を高めながら牛に合わせた生活をする事で自分の生活時間にも規律ができます。

### 新規就農 希望者への アドバイス

血統構成やエサの種類など、繁殖農家にとって重要なのは決断力です。肥育農家さんに高く買ってもらえる健康な子牛を生産することを常に意識することが大切です(一久さん)。エサの管理や夏場の高温ストレスなどで牛の健康は左右されるため、観察はとても大事な仕事です。意識してほしいことは、牛はペットではないこと。1頭1頭の体調を毎日見極めながら大切に育てることで牛たちは応えてくれます。それが結果として安定経営につながります(怜美さん)。



# 先輩 インタビュー

## 農家のリアル

### 就農の きっかけ

福島県出身  
水野谷正史さん  
文子さん

残業が多かったサラリーマン時代はとにかく忙しく、家族と過ごす時間がありませんでした。このままでいいのかと疑問を感じ、退職したのが30歳のとき。父親が営む農業を手伝いながら転職先を探していました。そんなときに東日本大震災が発生。農業をイチから立て直す気持ちで就農を決意しました。現在は水稲9ヘクタールのほか、大豆、トマト、ブロッコリー、メロン、ニラ、トウモロコシなどの2ヘクタールの農場を家族で営んでいます。



### 石川町で 農業をする 魅力



水稲を中心に畜産、野菜、果樹など多彩な農畜産物が育つことです。だからこそ、われわれのような複合経営が成り立ちます。新規就農者にとって作付け品目を何にするかは悩みどころ。その点、“何でも育つ”石川町なら、さまざまな作物を栽培することができるのが大きな魅力です。複合経営では、収穫時期が被らない作物を作ることで年間を通した収入を得ることができます。忙しいことは忙しいですが、自分のペースで仕事ができ、安定経営が見込めます(正史さん)。石川町は気さくな方が多く、ご近所付き合いも盛ん。子育てもしやすい環境。新規就農をするにあたって、各種制度の手続きなど、行政が親身になって相談のしてくれますよ(文子さん)。

### 作物の扱いで 気を付けて いること



作物の成長に必要な管理作業を、適期に適切に行うことを心がけています。基本的に忠実であることが私の営農スタイルであり、こだわり。手をかけた分だけしっかり応えてくれるのが農業の魅力です。生育状況が芳しくないときは他の方法を試してみたり、柔軟性も必要だと思います。また、万が一、ひとつの作物が不良でも、他の作物で収入をある程度カバーできるよう、しっかり作物に向き合っていくことも大切にしています。そのためには自分の目が行き届く規模であることが重要。規模拡大や法人経営は視野に入れず、家族を養えることができ、家族で経営できる規模をこれからも維持していきたいと考えています。

### 新規就農 希望者への アドバイス

自然相手の農業は待たなしです。人間の都合で成長を止めることはできません。たった数日間でも手を抜くと、収穫量や品質に影響します。全ての責任は自分にあるという覚悟を持って農業に向き合うことが大切です。そのためにも休日も含め、作業管理の計画を立てることがポイントになるでしょう。自分の働き方と作業内容のマネジメントをする気持ちで日々の作業に向き合ってくださいね。覚悟を持って農業に向き合うことで、目指す農業が見えてくるはずですよ。

WEBでも  
記事公開中



### 就農相談

## Q&A

**Q** 農業体験や現地見学は受け入れてありますか?

**A** 石川町役場農政課(0247-26-9126)にお問い合わせいただければ、JA・農業普及所にお繋ぎいたします。関係機関が一体となって受け入れ先を探しますのでご安心ください。

**Q** 就農や移住について相談したいのですが、どこに問い合わせればよいでしょうか?

**A** 就農について⇒石川町役場農政課(0247-26-9126)、  
移住について⇒石川町役場企画商工課協働推進係(0247-26-9111)、  
お問い合わせをお願いします。

**Q** 就農前に準備しておいた方がいいことはありますか?

**A** 農業というものがどのようなものかイメージをしてみてください。農業体験への参加や農家さんと交流するのも大切です。

**Q** 農業をはじめるとどれくらいお金がかかるのでしょうか?

**A** 一般的に、生産が安定するまでの2~3年間は無収入でいられるくらいの資金と、覚悟が必要だと言われています。

**Q** 何を作ったらいいか迷っています。

**A** 農業体験を通じて、実際に農家さんと交流をして情報を得ながら決めることをおすすめします。

**Q** 農機はどうやって手に入れるのでしょうか?特に就農初年度は不安です…

**A** JAや農機具店にご相談いただいたり、ホームセンター等でご用意していただくか、使っていない農機を先輩農業者さんから譲っていただけることもあります。

**Q** 農地や住まいはどうやって探すのですか?

**A** 農地⇒石川町役場農政課・JA・農業普及所にご相談ください。  
住まい⇒空き家バンク・不動産屋さん・現地の人との交流から情報を入手できます。



# 知っておくべき! 支援情報



## 住まいに関する支援金&事業

空き家バンク

物件をお探しの方、物件を渡したい方  
をつなぐお手伝いをします。

移住定住促進家賃補助金	本町へ住民登録をした方のうち、町内外の事業所に正社員として勤務又は本町で業を営む40歳未満の方に <b>町内企業</b> は月額 <b>1万5千円</b> 上限、 <b>町外企業</b> は月額 <b>1万円</b> を上限に、 <b>最大36ヶ月補助</b>
移住支援金	東京圏から町内へ移住した方が、 世帯の場合は <b>100万円</b> 、単身の場合は <b>60万円</b> 支給 移住支援金支給要件を満たした場合 18歳未満の世帯員がいる場合一人あたり <b>100万円を追加支給</b>
子育て世帯・若者世帯 住宅取得支援事業補助金	子育て世帯又は若者世帯の方が石川町で住宅を取得した際に、新築又は建売住宅購入で <b>70万円</b> 、 中古住宅購入で <b>35万円</b> を補助します。また、転入世帯の場合は <b>30万円</b> の加算がある等、 <b>最大で 200万円の加算制度</b> があります。さらに、当該住宅の土地の <b>固定資産税の5年分相当額を補助</b>
来て ふくしま住宅支援事業	県外から町内に移住し、 上記の補助を受けた場合 県が最大 <b>100万円</b> をプラスして補助
結婚新生活支援事業補助金	夫婦共に39歳以下及び夫婦合算の所得 500万円未満の新規に婚姻した世帯 住居費及び引越費用について <b>30万円</b> を上限に補助 夫婦共に29歳以下及び夫婦合算の所得 500万円未満の新規に婚姻した世帯 住居費及び引越費用について <b>60万円</b> を上限に補助



## 仕事に関する支援金&事業

就農相談窓口

町内で就農する方に就農相談実施

新規就農者経営確立支援事業	町内で新規に就農する方に対し、 <b>当初1年間の研修経費に対する支援</b> や、 <b>最大3年間の農地賃借料、農業機械や施設のリース料に対する支援</b>
経営開始資金	次世代を担う農業者となることを志向する49歳以下の者に対し、 <b>就農直後の経営確立を支援する資金を交付</b>
石川地方職業相談室	「仕事さがし」をお手伝いする相談室です。求職申請や端末による求人情報検索ができ、 窓口では具体的な仕事の相談のほか企業紹介も受けられます。
地域おこし協力隊	石川町の魅力を新鮮な感性で掘り起こし、磨き上げ、町のファンを増やしなが ら地域振興に意欲的に取り組んでくださる地域おこし協力隊を募集しています。
地域おこし協力隊起業支援補助金	地域おこし協力隊終了後、町内で起業する者に対し、 <b>起業するための経費100万円を上限に補助</b>



## 子育てに関する主な支援金

新生児 誕生祝い金	第1~3子 ( <b>10万円</b> ) 第4子 ( <b>20万円</b> ) 第5子以降 ( <b>25万円</b> )
子ども医療費 給付事業	石川町に住所のある18歳までの子どもに対し、健康保険適用の医療費 <b>自己負担額 全額助成</b>
学校給食費 補助事業	町立小中学校児童生徒の保護者 <b>個人負担全額補助</b>
妊産婦医療費 給付事業	妊娠4ヵ月となる月の初日から出産月の翌末日までの妊産婦に対し、健康保険適用の医療費 <b>自己負担額 全額助成</b>
通学支援	遠距離から小中学校に通う児童生徒の通学手段を確保 <b>専用バスの運行、路線バスの運賃負担</b>
保育施設給食費 補助金	民間保育施設へ補助金交付 <b>月額4,700円</b>
保育施設 給食費・保育料	町立保育所 <b>給食費無料</b> 3歳以上~ <b>保育料無料</b>
母子保健事業	給付(出産・子育て応援交付金) 妊婦 <b>5万円</b> 対象児童の養育者 <b>5万円</b> 補助 <b>妊産婦タクシー券助成</b>



## 子育てに関する支援事業も充実しています

石川町は子育て応援で、  
住みよいまちづくりを目指しています。

産婦人科・ 小児科オンライン相談	産婦人科医・小児科医・助産師にスマートフォンで無料相談ができます。
子育てガイドブック 「すくサポ」	これから妊娠・出産・子育てを迎える方に向けて、子育てガイドブック「すくサポ」を発行しています。 妊娠期から子育て期(小学生)までのさまざまな事業、サービスなどの情報を一冊にまとめて掲載し、 母子健康手帳の交付にあわせ、配布しています。
子育て支援アプリ (母子モ)「すくサポ」	石川町にお住まいの妊娠中・子育て中の方が、スマートフォン等を使って子どもの成長記録や予防接種の スケジュール管理、子育て情報の入手などが行えます。
いしかわスキッズひろば	廃校となった小学校を改修した施設である「モトガッコ」のなかにあるいしかわスキッズひろばは、 未就学児とその保護者を対象としており、子育て中の保護者が気軽に集い、交流する場としても利用できます。 ボルダリングやすべり台等遊具が設置され、子どもの成長や性格に合わせた遊びが楽しめます。
放課後児童クラブ	保護者が労働等により昼間家庭にいない児童に対し、平日、土曜日、夏休みに遊びと生活の場を提供し、 健全な育成を行っています。
石川町ファミリー サポートセンター	子どもの一時預かり、送迎等の相互援助活動による子育て支援を行っています。

## 他にもこんな支援制度を 準備しています!

お試し移住 レンタカー・タクシー利用補助金	移住定住職業体験ツアー	石川町「テレワーク×くらし」 体験補助金	移住希望者体験宿泊支援事業補助金	奨学金返還支援補助金	ふくしまぐらし。 ×テレワーク支援補助金
本町への移住定住を目的に町内の視察等を行う 県外在住者に <b>1日5千円</b> を上限に <b>最大10日間補助</b>	農林業等の職業を希望し移住を検討している方に 職業体験ツアーを開催し 体験費や施設利用費など <b>一部を負担</b>	町内に2泊以上滞在し2日間以上コワーキングス ペース等でテレワークを実施する県外の者へ生 活体験する際の 費用の <b>一部を補助</b>	県外から石川町へ移住を希望する者の現地活 動に要する 宿泊費用の <b>1/2補助</b> (1泊4千円上限、最大6泊分まで)	町内に住所を有し、奨学金を返還する若者に 対し <b>5年間で90万円を上限に補助</b>	一定期間滞在し、コワーキングスペースなどでテ レワークを実施するとともに地域との交流を通じ 生活環境を体験した場合 費用の <b>一部を補助</b>

※各事業には受給条件がございます。令和6年7月時点での情報のため、今後変更になる可能性がございます。